



たけだ さちこ  
「舞岳の里」代表 竹田 幸子さん

長崎県島原市

取材日：H29.8.28



竹田マダーボール園ほ場にて

女性農家の地位向上や所得の確保を目指して、地産地消を目指して立ち上げた農産物直売所の取組みを紹介します。

### ◆プロフィール

#### 【就農のきっかけ】

結婚を機に就農。平成17年に家族経営協定を締結し、「竹田マダーボール園」を夫と共同経営

#### 【経営規模】

マダーボール（小玉スイカ）1ha、はくさい 1.3ha、だいこん 0.3ha、ほうれんそう 0.2ha

#### 【主な活動歴】

- ・長崎県グリーンライフアドバイザー（H7～H10）
- ・島原半島がまだすネット理事（H17～H25）
- ・島原・加津佐地区生活研究グループ会長（H21～現在）
- ・長崎県生活研究グループ副会長・会長（H21～現在）
- ・農事組合法人舞岳の里代表（H24～現在）

### ◆女性農業者の地位向上と地産地消を目指した取組み

実家は米農家ですが、本格的な就農は結婚してからです。農家は大変だけど収穫が終れば充実感があり、楽しい仕事だと思ってやってきました。昔は、農家に嫁いできた女性に農業、家事、育児全てに重い責任がかかる時代でした。その中で、女性農業者が自由に使えるお金を稼ぐこと、消費者、特に子供たちに地元で穫れた安全安心なものを届ける地産地消を目指し、平成12年に10人の仲間たちと農産物直売所「舞岳の里」を立ち上げました。

「舞岳の里」の立上げには、創設メンバー10人の自己資金に加え、アグリベンチャー支援事業を受け、不足分はJAで借受けました。運営に関しては、ジャムや惣菜などの加工品を作ったり、集客のために月1回のイベントを開催したり、工夫を凝らしながら手探りで進めて来ました。メンバーで交替しながらの運営は、各自の農作業の合間に行い、大変苦勞しましたので、今ではメンバーが3人になってしまいました。販売や食品加工は、専門的に行う人を雇用したほうが良かったのではないかと今になって思います。

# 「舞岳の里」について



「舞岳の里」の外観

まいたけ

名称：農事組合法人「舞岳の里」  
従業員：3名（男性1名、女性2名）  
所在地：長崎県島原市有明町大三東396-7  
電話番号：(0957) 65-9800  
定休日：毎週月曜日  
農産物出荷組員数：140名（H29.8現在）  
オンラインショップ：<http://maitake.shop-pro.jp/>  
Facebook：<https://www.facebook.com/maitakenosato/>  
その他：「島原市」ふるさと納税の返礼品

## ◆「舞岳の里」の自慢の野菜について

島原半島の140戸の生産者の協力を得て、いつも安全・安心で新鮮なおいしい野菜にこだわって、店頭には並べるよう心掛けています。店頭には、1日あたり30～40名ほどの生産者が作った物を扱っています。季節の野菜や果物を中心に販売していますが、葉物野菜の品揃えや管理は大変です。

「舞岳の里」の野菜詰合わせは、島原市のふるさと納税の返礼品やインターネット販売を通じて、消費者へ届けています。発送する日に合わせて収穫した野菜を箱詰めにしており、消費者の方から「スーパーでこんなに美味しい野菜を買ったことがない。」など、うれしい反応を頂いたりすると、励みになります。

島原では、生産者が入組んだほ場で作物を栽培しており、無農薬栽培は難しいので、契約生産者一同、せめてもの思いで減農薬栽培に努めています。



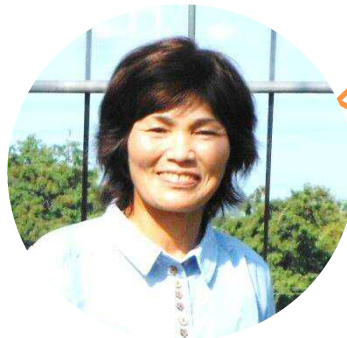
新鮮な島原の野菜売場

## ◆女性目線の品揃え

直売をやっていると、消費者に飽きられないよう、多品種・多品目の野菜を並べる必要があります。女性は、思いつくとすぐに畑の隅っこなどでちょこちょこ作物を作って持ってきてくれたりします。男性の生産者は、専門的に黙々と作るイメージがありますが、女性ならではの意欲と工夫を感じます。

## これからの女性農業者へのメッセージ

目標を持って物事を進めると、必ずひらめきがあります。明るく前向きな、強い気持を持って色んなことに取組んで欲しいです。産地直売は、自分で自信を持って販売価格を設定できるので、工夫が活きる取組みだと思います。私は、次に生れ変わっても農業をしたい。自信を持って言える職業です。



## 今後の目標

「舞岳の里」は道路拡張計画にかかっており、存続が危ぶまれています。ですが、次に繋がるように取組みを進めていこうと考えています。

スムーズに世代交代が出来るように、若い人たちの活躍の輪を広げられるよう手助けしたいですね。